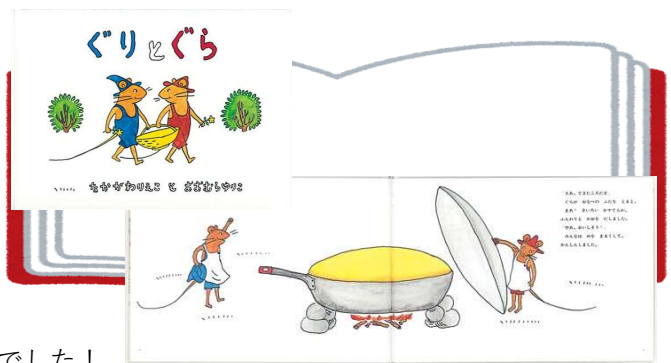


今月の

えほんきゅうしょく

ぐりとぐらに出てくる ふっくらしっとり
カステラをおやつに 仕上げ、子どもと先生に大人気でした！
提供しました★



- カステラの材料 1枚分
- ホットケーキミックス 50g
 - 卵 2個 バター37g
 - メープルシロップ 17g 油 適量

作り方①、ボウルに卵・バター・メープルシロップを入れて攪拌します。②、①の中にホットケーキミックスを入れて攪拌します。③、フライパンに油を敷き生地を流し込みます。表面にプツプツと穴があいたらひっくり返し、火が通るまで焼きます。絵本のようなカステラの完成です。

子どもの食事詰まりが起こる原因について

子どもが食事を詰まらせる原因の1つ 今の口腔機能の発達に対して適さない食形態のものを食べたとき

●唇を閉じる動きができていないか ●舌を上下前後に動かせているか ●奥歯を使って噛めているか
を確認してみましょう。口の中に食べ物を入れて舌で食べ物を奥まで運び噛むことが咀嚼機能に大切です。
舌の運動→例 口の周りに（少量のジャム、牛乳を飲んであとがつく）→円を描くようになめてみる。
また保護者の方がよく噛んでいるしぐさを見せたり、声掛けをしていきましょう。

注意したいもの

☑弾力があるもの

こんにゃく・きのこ
練り物製品など

☑なめらかなもの

蒸れた柿やメロン
豆類など

☑球形のもの

プチトマト、乾いた豆類など
ぶどう

☑口の中でバラバラに

なりやすいもの
ブロッコリー、ひき肉など

☑粘着性が強いもの

餅、白玉団子、
ごはんなど

☑固いもの

かたまりの肉、えび、
いかなど

☑唾液を吸うもの

パン、ゆで卵、
さつま芋など

こんな行動に気を付けましょう

- 立ち歩きながら食べている
- 泣きながら食べている
- あそびながら食べている
- 競争して食べている
- 食べているときの姿勢が崩れている
- 食べ物を大量に口に入れている
- 飲み物で食べ物を流し込もうとしている
- 咀嚼せずに吸って食べている など



※口の中に入っている状態で大声で怒鳴ってしまうとそれに驚き詰まらせてしまうことがあります。
肯定的に話して、してほしいことを伝えましょう。

例 ×立ち歩いたらダメでしょ！ ◎椅子に座ろうね

保育園では、月齢や個人差に合わせて提供時に気を付ける食材の大きさにカットして調理をし、保育士が